

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-274360 (P2003-274360A)

【公開日】平成 15 年 9 月 26 日 (2003.9.26)

【出願番号】特願 2002-70288 (P2002-70288)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/92

G 0 8 B 25/00

G 0 8 B 25/10

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/232

H 0 4 N 5/915

H 0 4 N 7/18

【F I】

H 0 4 N 5/92 H

G 0 8 B 25/00 5 1 0 M

G 0 8 B 25/10 B

H 0 4 N 5/225 D

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 7/18 D

H 0 4 N 7/18 E

H 0 4 N 5/91 K

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 26 日 (2004.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 5】

大音量検出がない期間は、第 1 レートでの撮像制御を継続する。

ところが、音声検査部 6 4 から大音量検出の検出信号があったら、コントローラ 5 1 の処理はステップ F 2 0 2 から F 2 0 3 に進み、第 2 レートで撮像（記録 / 送信）が行われるように、各エンコード部 5 3 a、5 3 b、5 4 a、5 4 b に対して第 2 レートを指示する。これによって高品位な撮像データが記録又は送信される状態となる。

なおコントローラ 5 1 は、第 2 レートに移行した時点からタイムカウントを開始する。

また、音声検査部 6 4 からの検出信号を監視する処理は継続する。そしてタイムカウントについては、音声検査部 6 4 からの検出信号が供給された時点で内部タイマをリセットし、また同時に再度カウントをスタートする処理としている。